

731 部隊被害者遺族を 訪ねて

2021. 3.22

大谷猛夫

中国人戦争被害者の裁判

- 1995 7 3 1 部隊・南京事件・無差別空爆訴訟
- 強制連行劉連仁訴訟・山東省「慰安婦」訴訟
- 1996 平頂山事件・遺棄毒ガス事件
訴訟を支援する市民運動を結成
 - ・ 中国人戦争被害者の要求を支える会
来日する原告の支援、国内支援者の組織

7 3 1 部隊被害者はすべて惨殺

- 7 3 1 部隊の被害者は人体実験の「材料」にされ、すべて殺害。
- 敗戦時にいた収容者もその場で殺害。
- 被害者自身は「生き残り」はいない。
- 裁判原告は「遺族」

遺族自身も本人が7 3 1 部隊で被害にあったことは不明
ある日、突然いなくなり、帰ってこない。

→ (いくつかの例外を除いて) 戦後憲兵隊資料などからわかる。

この間の生活は

張可偉さん

- 張可偉さんのお父さん張文善さんのこと

- 1909遼寧省生まれ
- 1927中国共産党入党
- 1935ソ連に行き、無線の勉強
- 1937帰国、ハルピンで活動・地下活動
- 1939牡丹江へ派遣、荷車運送を営む

月1回、第一火曜午前0時～2時、ソ連と通信



牡丹江事件

- 1941.7.15朝通信を終え、通信機を干し草のなかに隠す
日本軍憲兵隊が踏み込む
張文善さんは逮捕され、通信機も見つけられた。
張可偉さんのお母さん龍桂潔さんが、通信機解読の解読
の手帳を張可偉さんの弟のおむつの中に隠す。
龍桂潔さんも連行され、拷問を受けるが数日後釈放
さらに憲兵隊に父を探しに行ったが、自筆の紙片が戻さ
れ、まだ生存していることを確認。
その後、ハルピンに移送されたと、聞いたのが最後。

李鳳琴さん

- 李鳳琴さんの父、李鵬閣さんのこと

李鳳さんは、1941年12月7日に生まれています。

その半年前、李鵬閣さんは朝牡丹江の駅に出勤し、そのまま帰ってきませんでした。

李さんはお父さんを知りません。

2008年になって、731記念館から連絡があり、父のことが判明しました。

敬蘭芝さんの夫、朱之盈さん、張文善さんと同様の牡丹江事件で逮捕されたようです。

曹漢卿さん



- 曹漢卿さんは1914年生まれです。遼寧省生まれ
 - 1931年日本軍侵略のあと、革命軍の秘密工作
 - 隊にはいり、叔父の曹興剛さんについて虎林
 - へいきました。食堂経営の原美秦さんが日本軍憲兵隊に連行
-
- 原美秦さん
 - 娘の原紅英さんは県政府の電話交換センターの仕事をしていて、日本語の情報を原美秦さん経由でソ連に渡していた。
 - 曹漢卿さんは原紅英さんと結婚。

曹さんの人生

- 原美秦さんは、1941年8月日本軍憲兵隊に捕まり、
- 再利用の価値なしとして「特移扱い」になり、731に送られた、と憲兵隊の記録にある。

曹さんは、2005年に731記念館からの連絡で、これを知る。

1948年に鶏西の麻山に移ります。

2013年お会いしたときは99歳でした。

731部隊の支隊

黒竜江省林口162部隊があった
細菌の培養、ネズミの飼育



細菌の散布実験、近くの七星泡村は全滅
1945ソ連軍の侵攻で、爆破され、部隊長の榊原秀夫は
シベリア送り→撫順戦犯管理所へ
榊原の証言で162部隊の侵攻があきらかに。

ハイラル支隊

- 731の支隊のひとつ。

ソ連の国境近く、国境警備隊・要塞

この要塞は1934～1937に多くの中国人を動員し建設された

この中国人を秘密保持のため、皆殺し、近くに放置

→万人坑

ハイラル

ここでも、細菌の培養、ねずみの飼育がおこなわれる

ノモンハン事件の時の前進基地になった。

被害者遺族への謝罪と賠償を

- 日本政府は、731部隊の人体実験や細菌兵器製造を認めていない
- 事実を認め、被害者遺族への謝罪を
- 事実を後世に伝え、二度と繰り返さないように